

報道関係者各位

2018年8月16日

株式会社イード

(東証マザーズ：コード 6038)

**イード、ブロックチェーンを活用した
「ゲームを遊ぶことが価値になる」トークンエコノミーの構築に向けて
テックビューロと実証実験を実施**

株式会社イード（本社：東京都新宿区、代表取締役：宮川 洋 以下、イード）は、ブロックチェーンを用いて発行したトークンを軸にした、「ゲームを遊ぶことが価値になる社会」の実現に向けて、「mijin」を開発するテックビューロホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：朝山 貴生）と協力して、2018年5月から実証実験を行ってきました。

ある特定の領域やコミュニティにおいて、中核となる価値の表現手法にブロックチェーンで発行したトークンを用いる、トークンエコノミーが注目を集めています。本プロジェクトでは当社が運営するゲーム情報サイト「インサイド」(<https://www.inside-games.jp/>) および「Game*Spark」(<https://www.gamespark.jp/>) をベースにゲーム領域でのトークンエコノミー構築を目指します。

"GameDays"プロジェクトでは、「ゲームを遊ぶことが価値になる社会」を目指し、ゲームのプレイ時間に応じてトークンをユーザーに付与いたします。また、ゲームを購入する、ゲーム情報をシェアする、といった行為に対してもトークンを付与します。

付与するトークンは「Super Gamers Coin」（スーパー・ゲーマーズ・コイン）と呼ばれる、使用や交換が可能なトークンと、「Super Gamers XP」（スーパー・ゲーマーズ・エクスペリエンス）と呼ばれる、交換不能でゲームプレイヤーとしての経験を示すトークンの2種類です。



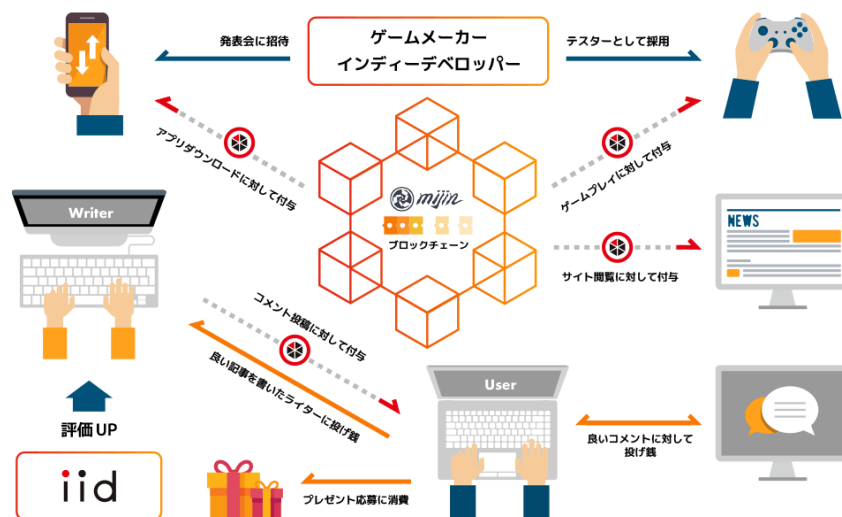
Super Gamers Coin



Super Gamers XP

2種類のトークンのロゴ

ユーザーは「Super Gamers Coin」を集めることで、特典コンテンツが提供される、限定のユーザーイベントに招待されるといった、ゲームプレイヤーにとって嬉しい特典を準備する予定です。将来的にはゲームの購入や、ゲーム内アイテムとの交換ができるよう、準備を進めてまいります。これによって、ゲームを遊ぶという行為が価値を持つ社会の実現を目指します。



トークンエコノミーのイメージ図

"GameDays"プロジェクトでは資金調達を伴うICO (Initial Coin Offering)などは予定しておらず、ゲームを遊ぶという行為に対して無償でトークンを発行してまいります。また、有償でのトークンの販売や、法定通貨や他のトークンとの交換を当社として実施する予定はありません。

イードでは実証実験を受け、2018年9月より"GameDays"の中核となるiOS/Androidアプリをリリースし、本プロジェクトの正式スタートを予定しております。また、「ゲームを遊ぶことが価値になる社会」という理念に共感いただける皆様と積極的にパートナーシップを組んでいきたいと考えています。

■ テックビューロホールディングスグループについて (<https://techbureau.com/>)

テックビューロホールディングスグループは、日本、北米、欧州に拠点を置き、仮想通貨技術とブロックチェーン技術に基づいたソフトウェアとサービスを開発しているクリプト・フィンテック・ラボ (Crypto-Fintech Lab.) です。プライベート・ブロックチェーン製品「mijin」と仮想通貨取引所「Zaif」や、トークンの発行販売を用いた資金調達ソリューション「COMSA」など、ブロックチェーン技術導入の受託開発やコンサルティングサービスを提供しております。

■ 取材などのお問合せ : 広報担当

URL : https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html